

公表

事業所における自己評価総括表 保育所等訪問支援

○事業所名	がんばりっこ魚崎 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 10日		～	R7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R7年 2月 10日		～	R7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	R7年 2月 10日		～	R7年 3月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者にはすぐに電話やLINE等で報告書は送るようにしている。	報告書はペーパーでも用意するもすぐに共有出来るようにLINEや電話でタイムラグが無いようにしている。	今後もすぐに報告して学校の先生とも共有出来る仕組みを作っていきたい。
2	基本的に本人が拒否がなければ本人のそばにしているようにしている。しかし支援員が来ることで集中が途切れたり、他者の目を気にするようないざがみられれば教室全体を見ているように立ち位置を意識したり、教室内にいる他生徒ともコミュニケーションを取っている。	他生徒とのコミュニケーションを多くとっている。	他生徒とコミュニケーションを多くとり、間に入り、児童と他生徒がコミュニケーションを取りやすく出来るように支援する。
3	デイに来ている児童の訪問がほとんどで長く付き合っている児童の事は過去の本人の様子を共有している。	デイでの様子や保護者とのやり取りを伝えるようにしている。	デイに来ていない児童の共有方法をもっとスムーズにした。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	デイに来ていない児童の支援について・・・力になれているかわからない。	ケースを積んでデイに来ていなくてもこのケースはこのケースでは・・・と代用して支援していく。	ケースを知る、事例検討を他事業所と行う。
2	1人で行っているため支援回数が限られている。	訪問支援員の教育	学校が許可してくれたら2人で行くなど指導して訪問支援員を育てていく。
3	普通学校の先生との共有時間が少ない。	アンケートや訪問報告の共有をもっとしていく。	学期に一度はアンケート形式でやり取りをしてそれを踏まえての相談等を行う。